## 日本の精神文化を今一度

厚別店店長 穂積 豊仁

難復新生

新年あけましておめでとうございます。 昨年中は、格別のお引き立てを賜りまして、厚く御礼 申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げま す。

今年2013年は、5月に「国譲り」の神話の舞台となった、神々の故郷、出雲大社が、60年に1度の大遷宮を迎え、10月には、天照大神を祀り最も大切な聖地である、伊勢神宮の20年に1度の式年遷宮が、行われます。

2つの遷宮が重なるこの年は、現代の日本人が失いつつある、尊い精神性を、取り戻すきつかけをつかむ、またとない機会ではないかと思います。日本は、戦後最大の不景気に見舞われ、東日本大震災での、甚大な被害に加え、原発の事故問題も、いまだ、解決の糸口すら見つからない状況に、追い込まれています。

今、必要とされているのは、お金や、地位や、名誉などに、至上の価値を置く、功利主義、物質主義的価値 観からの、転換ではないかと思います。

そこで、皆様に、読んでいただきたいと思うのが「教育勅語」です。明治天皇が、生きていくうえで必要な、道徳観を、国民にきちんと伝えたいと、切に願い315文字という言葉で、記されました。

こうして作成された、教育勅語は、まず、両親、兄弟、 夫婦といった、家族を大切にしようと説き、次に、友達 や、近隣国へと礼を尽くす対象を広げ、さらに、愛国 心へと至っています。

そして、付随する「教育勅語の12徳」では、人が生きていくうえで、心がけるべき教えが、簡潔に示されています。ここに示されている、すべては、古き良き日本の叡智からの、言霊です。

当たり前のことが、当たり前にできない、そんな時代に、私たちは、もう1度、日本の心を洗い直し、見直さなければならないかもしれません。今こそ、日本人が大切にしてきた、文化の根源を探るべきだと思い

この大自然の中で、生かされていることに感謝し、 ひとりひとりが、自分の足元を見つめながら、自分の 事より人の事、利他愛に生き、足るを知り、慎ましく暮 らす。そして、人と 争わず、謙虚に生 きていければ、ど んなに素晴らし いでしようか。

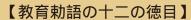
しんしんと降り 積もった雪が作 る、常若の銀世界

に、心洗われ、朝陽に照らされて輝く、清々しい世界に、今日も精一杯生きようと、勇気をもらいます。

自行禮

まほろばで頂いた、縁を大切に、自分自身を正しく 修め、周りで支えてくださる、すべての人の為に尽くし ていきたいと思います。

今日も生かされている喜びを感じ、新年の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



こうこう

孝行 親に孝養をつくしましょう

ゆうあい

友愛 兄弟・姉妹は仲良くしましょう

ふうふ の わ

夫婦ノ和 夫婦はいつも仲むつまじくしましょう

朋友ノ信 友だちはお互いに信じあって 付き合いましょう

けんそん

謙遜 自分の言動をつつしみましょう

はくあい

博愛 広く全ての人に愛の手をさしのべましょう

修学 習業 勉学に励み職業を身につけましょう

智能 啓発 知識を養い才能を伸ばしましょう

徳器 成就 人格の向上につとめましょう

こうえき せいむ

公益 世務 広く世の人々や社会のためになる 仕事に励みましょう

じゅんぽう

**遵法** 法律や規則を守り社会の秩序に従いましょう

**義勇** 正しい勇気をもって国のため真心を 尽くしましょう

年もとうそ

平成三十五

元記

≢す。